

## 後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針書

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 01 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現

主管課長職・氏名	地域づくり推進課長 藤島 洋介
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	地域活動を行う上で様々な課題がある中、性別や年齢を問わずに多様な考え方を認め合い、地域の方々がつながりを意識することにより、活動の輪が広がり、市民一人一人が、様々な場面で地域づくりに関われる地域を目指します。
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 地域のお祭りや行事に参加した回数 単位 回	1.61	2.5	3	3.5	4	4	-
			1.7	1	0.51	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	77	78	79	80	80	-
			69.1	68.1	71.2	-	-	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 01010100 市民主体の地域づくり活動支援 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	44.7	47.3	49.9	52.5	55	55	-
			46.2	46.8	43	-	-	0.0
2	暮らし 01010200 市民活動拠点による賑わいの創出 人々が集まり活動できる場所があると感じている人の割合 単位 %以上	46.1	46.1	46.1	46.1	46.1	46.1	-
			49.1	46.7	42.2	-	-	0.0
	単位							
	単位							
	単位							

## 後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針書

政策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策：01 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現

主管課長職・氏名	地域づくり推進課長 藤島 洋介
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

## (1) 基本施策目標の進捗状況分析

地域コミュニティ基本条例に基づく地域づくり懇談会は、地域別計画に基づき活動していますが、参加者の固定化など課題があります。市内のコミュニティ施設は、地域活動の重要な拠点であり今後も修繕等に対する支援が必要になります。ビッググループ滝沢については、今後も多くの方が来場し交流と賑わいを創出する事業の展開が重要ですが、新型コロナウイルスの国内外における感染拡大の状況を鑑み、来場者と従事者の安全に配慮することが必要です。

## (2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

市民のライフスタイルが多様化する中、地域活動を支える役員の高齢化や担い手不足が課題となっています。人とのつながりにより、地域全体で活動を支える環境を整えながら、誰もが活動し、活躍できる地域を目指す必要があります。また、地域活動の拠点となるコミュニティ施設整備や修繕等の予算確保が必要です。

## (3) 政策との関連性

政策名称の「多様なつながりによって市民が行動しているまち」を推進するために、市民主体の地域づくり活動の推進と活動拠点の支援を行います。

## 3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

## (1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

2つの施策の達成に向け、地域づくり懇談会における地域別計画の推進と市民主体の地域づくりを支援するとともに、地域活動の拠点となるコミュニティ施設の活用及びビッググループ滝沢の更なる賑わいの創出を目指します。

2つの施策名称

- ・市民主体の地域づくり活動支援
- ・市民活動拠点による賑わいの創出

## (2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題

2つの施策の重点課題

- ・市民主体の地域づくり活動支援 → 地域づくり懇談会による地域別計画の推進と次期地域別計画の策定
- ・市民活動拠点による賑わいの創出 → コミュニティ施設整備等の支援及びビッググループ滝沢の管理運営

## (3) 基本計画期間及び令和 4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

多様なつながりによって市民が行動しているまちを目指し、市民一人一人が、様々な場面で活躍できる地域を目指し、優先順位は次の通りとします。

- ①市民主体の地域づくり活動支援
- ②市民活動拠点による賑わいの創出

